林業普及現地情報
2026-09号（通算568号）
令和８年11月10日
盛岡普及指導区
記述者　高橋　攻

# 盛岡地区木育体験会を開催しました！

## １　はじめに

盛岡広域振興局林務部では令和８年10月２日、岩手県県民の森オヤマダエンジニアリング八幡平フォレスト森林ふれあい学習館において、モリオカえほんの森保育の園児と保護者を対象とした木育体験会を開催しました。本体験会は、木材や木製品とのふれあいを通じて、木のぬくもりや香り、手触りなどを体感し、木材への親しみや木の文化への理解を深めるとともに、木材の良さや森林の大切さについて関心を持ってもらうことを目的として実施したもので、当日は約30名が参加ました。

## ２　開催内容

### （1）木工工作体験

開会後、松ぼっくりや木の実など使った木工工作体験を実施しました。園児たちは保護者と協力しながら、松ぼっくりなどの自然素材を使った作品づくりに取り組みました。同じ材料を使用しながらも、一つひとつ異なる個性豊かな作品が完成し、参加者は創作活動の楽しさや自然素材の魅力を感じている様子でした。また、親子で会話をしながら制作する姿も多く見られ、楽しい交流の時間となりました。

### （2）木製遊具とのふれあい体験

木工工作体験終了後には、学習館の館内にたくさんある木製遊具とのふれあい体験を実施しました。木製プールや木製すべり台などの遊具を利用しながら、園児たちは木のぬくもりや優しい手触りを体感しました。遊びを通じて木材を身近に感じることができ、会場には楽しそうな笑顔があふれていました。また、保護者も一緒に参加することで、親子で木の魅力を共有する機会となり、木材や木製品への関心を高める体験となりました。

## ３　おわりに

今回の木育体験会では、木工工作体験や木製遊具とのふれあいを通じて、園児や保護者に木材の魅力や木の良さを直接体感してもらうことができました。特に、自然素材を活用した創作活動や木製遊具での遊びは、木への親しみを育む貴重な機会となりました。今後も木材利用の意義や森林の大切さについて理解を深める取組を進めていきます。



木工工作体験の様子



木製遊具との触れ合い体験の様子